

平成 29 年 度

佐 賀 大 学

学 生 募 集 要 項

—— 私費外国人留学生入試 ——

出願期間	全学部	平成29年 1 月 19日(木)～ 1 月 24日(火)
試 験 日	医学部	平成29年 2 月 25日(土)～ 2 月 26日(日)
	教育学部, 芸術地域デザイン学部, 経済学部, 理工学部, 農学部	平成29年 3 月 1 日(水)

佐 賀 大 学

目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	募 集 要 項	
1	募 集 人 員	14
2	出 願 資 格	14
3	出 願 期 間	15
4	出願に必要な書類	15
5	出 願 方 法	17
6	入 試 方 法	17
7	試験日程及び試験時間	19
8	障がい等を有する志願者との事前相談について	19
9	合格者の発表	20
10	入 学 手 続	20
11	授業料について	21
12	入学許可の取消し	21
13	個人情報の取扱いについて	21
14	入学志願票等の記入上の注意	22
15	過去3か年の志願者等状況	24
III	佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内	25
IV	添 付 書 類	
	● 入学志願票, 写真票, 受験票	
	● 検定料振込依頼書	
	● 検定料振込証明台紙	
	● 履 歴 書	
	● 住 所 届	
	● 入学志願票等出願用封筒	
	● 返信用封筒	
	● 写真用シール	

I 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

教育学部

求める学生像

教育学部では、子どもの心身の発達や学びを支える教育の充実、確かな学力の形成、小学校段階での英語教育の充実、科学的思考力の育成、ICTを利活用した教育の充実など、複雑で多様な地域の数多くの教育課題に対応できる高度な指導力を身につけた教員の養成を目指します。各コースの目的と求める学生像は以下の通りです。

幼小連携教育コース

現在の家庭・学校・地域が抱える教育的課題を解決するための教育学や心理学、幼児教育、特別支援教育の専門的知識を身につけ、幼児期から児童期にかけての子どもの心身の発達や学びを支えるための教育能力をもった教員を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 小学校の全教科に関する学習と、心理学・教育学・幼児教育の学習や特別支援教育の学習に意欲を持って取り組める人
 - ② 幅広い基礎的学力や技能を備え、家庭・学校・地域が抱える教育的課題や子どもたちの心身の発達、学びを支える教育について関心を持ち、幼稚園、認定こども園、小学校、または特別支援学校の教員を目指す人
- 〔幼小連携教育コースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

高等学校で履修する全ての教科・科目について、基礎的な知識を幅広く学習し、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現できることが必要です。将来、教師として活躍するためには、教職についての意欲と関心を培い、幼児教育や初等教育、特別支援教育をめぐる諸問題に対して強い関心を持つことが必要です。大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、将来教師になるにあたって糧となるような何らかの実践を経験できる機会があれば積極的に挑戦することを期待します。

小中連携教育コース

小学校から中学校までの9年間を一体としてとらえて、児童生徒の学習意欲を高め、学力を向上させていくための指導法や教材について学び、充実した教育実習を各学年で行うことにより、高度な教育実践力をもった教員を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 小学校の全教科に関する学習と、中学校のいずれかの教科の学習に意欲を持って取り組める人
 - ② 幅広い基礎的学力や技能を備え、小学校から中学校への教育の接続の問題や各教科の教育について関心を持ち、小学校、中学校、小中一貫校の教員を目指す人
- 〔小中連携教育コースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

文系、理系に偏らず、高等学校で履修する全ての教科・科目について、基礎的な知識を幅広く学習し、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現でき

ることが必要です。なお、技能が重要視される教科については、基礎的な技能をあわせて修得しておくことが求められます。将来、小学校や中学校などの教師として活躍するためには、初等教育や中等教育をめぐる諸問題に対して幅広い視野と強い関心を持ち、読書などを通して自分自身で考えておくことが必要です。大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、教育に関わる何らかの実践を経験できる機会があれば、積極的に挑戦することを期待します。

入学者選抜の基本方針

教育学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力または適性を有しているかを、英語および国語または数学(いずれか1教科)によって評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力または適性を有しているかを、英語および小論文によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」、「推薦入試Ⅱ(佐賀県枠)」および「AO入試」の3つの入試区分により、入学者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文、基礎学力試験によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、小論文によって評価します。さらに、明確な志望動機、特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員を目指す強い意志、入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ(佐賀県枠)】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文、基礎学力試験によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有し

ているかを、小論文によって評価します。さらに、明確な志望動機、佐賀県下の小学校教員を目指す強い意志、入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

【AO入試】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、活動実績報告書、小論文、面接試験、適性検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、教職を目指す強い意志、入学後の学習意欲等を有しているかを書類審査と面接試験によって評価します。

芸術地域デザイン学部

求める学生像

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能をもち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。各コースの目的と求める学生像は以下の通りです。

芸術表現コース

現代の様々な問題に主体的かつ積極的に取り組み、芸術を自ら創造・表現し、美術・工芸や有田セラミックの専門的知識を身につけ、マネジメントとともに共同参画することで、地域創生に貢献する人材を養成します。そのために以下のような学生を求めています。

- ① 高等学校で習得すべき基礎的学力と芸術についての知識、また、自らの手による描写力、発想力など芸術表現に関わる基本的な能力を有する人
 - ② 専門分野の内容を学習するために必要な読解力、論理的思考力、分析力、考察力などを有する人
 - ③ 地域社会が抱える問題に関心があり、芸術表現を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力等を有する人
 - ④ 意欲的かつ継続的な芸術の研究や自主的な芸術の活動を目指す人
 - ⑤ 将来、企業で美術に関わる仕事をする者、美術・工芸作家、造形・セラミック技術者、デザイナー、美術・工芸の販売や流通に関わる仕事、中学校・高等学校の美術教員、また、広くメディアに関わる仕事を志望する人
- 〔芸術表現コースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

芸術表現コースで学ぶにあたって大きく3つの事を意識してください。1つ目は「活力」です。芸術が果たしてきた役割を学びつつ、これからの社会とどのようにつながることが出来るかを想像してください。主体的な自分が生まれ、同時に活力を生み出す事が出来ます。2つ目は「理知」です。身の回りの現実にかかる出来事に興味を持ち、気になる事に少し立ち止まりながら知識を深めてください。様々な分野の事が複雑に関係している世界の様々な兆候を見逃さない感性が育まれ、理知へと発展します。3つ目は「発信」です。自分の好きなものや気になることを誰かに積極的に伝えてください。それは活力と理知を伴って社会への発信へ変わります。これらの事を入学前から意識することで、より有意義な大学生活が送れるはずです。

地域デザインコース

地域資源をデザインの手法を使ってコンテンツ化し、地域創生に貢献できる人材、キュレーター(学芸員)やアートコーディネーターとして国内・海外の文化芸術振興に寄与できる人材、また、まちづくり、地域創生等のコーディネーターやリーダーとして地域社会に貢献できる人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 高等学校で習得すべき基礎的学力と発想力、また、地域社会が抱える問題についての基礎的な知識を有する人

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、日本留学試験、TOEFLの成績、日本語作文および面接試験によって、入学後の学習に必要な語学力について評価します。また、大学で学習するために必要な基礎学力(汎用的な能力、専門科目を理解できる基礎学力および適性を含む)を有しているかを、日本留学試験と書類審査(成績証明書等)によって評価します。さらに、教育学部に対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

- ② 専門分野の内容を学習するために必要な読解力、論理的思考力、分析力、考察力などを有する人
- ③ 国内に限らずグローバルな視点で情報収集、情報発信できる一定の語学力を有する人
- ④ 地域社会が抱える問題に関心があり、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力等を有する人
- ⑤ 主体的なものごとに取り組み、積極的に行動できる人
- ⑥ 意欲的かつ継続的に地域の文化芸術活動に参画する意欲のある人
- ⑦ 将来、キュレーター(学芸員)やアートコーディネーターとなることを、また、自治体・企業等で文化振興、文化財保存やまちづくり等に携わる仕事を志望する人

〔地域デザインコースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

本コースで問われるのは、芸術表現の技能・巧拙ではありません。地域デザインコースにおける4年間の教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学んでおくことが重要です。特に、国語、英語の基礎的な学力を有していることが求められます。これらの幅広い基礎的な学力をもとに、自分の考えを分かり易く、文章や絵、図表などを多角的に組み合わせることで口頭で表現できる企画力、発想力、表現力が必要です。将来、国内・海外の文化芸術振興、あるいはまちづくり、地域創生等に貢献できる人材となるためには、地域社会にとどまらない幅広い視野と強い関心を持つことも重要です。読書などを通して知識教養を深めるとともに、大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、地域や社会全般に関わる何らかの実践を経験できる機会があれば、積極的に挑戦することを期待します。

入学者選抜の基本方針

芸術地域デザイン学部教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力、適性および技術を有しているかを、各コースが指定する評価方法(総合問題、実技検査)によって評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力、適性および技能を有しているかを、各コースが指定する評価方法(学力検査、問題解決・提案力テスト、実技

検査)によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「AO入試」の2つの区分により、入学者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、推薦書によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、適性および技能を有しているかを、ポートフォリオ、実技検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

【AO入試】(芸術表現コース)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書と適性検査によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、ポートフォリオ、適性検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、入学後の学習意欲等を

有しているかを書類審査と面接試験によって評価します。

【AO入試】(地域デザインコース)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文および適性検査によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、小論文と適性検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、入学後の学習意欲等を有しているかを書類審査(特色加点を含む)と面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために私費外国人留学生入試を行います。本入試では、日本留学試験、TOEFL、日本語作文(地域デザインコース)および面接試験によって、入学後の学習に必要な語学力について評価します。また、大学で学習するために必要な基礎学力(汎用的な能力および専門科目を理解できる基礎学力または適性を含む)を有しているかを、日本留学試験、書類審査(成績証明書等)、実技検査(芸術表現コース)によって評価します。さらに、各コースに対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

経済学部

求める学生像

経済学部は、経済学・経営学・法学を柱として社会科学上の知識と教養を授け、経済や社会における課題を分析し、解決できる人材を育成することを教育の目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

経済学科

経済学科は、経済の理論と政策を学び、現代の経済と社会の仕組みについて総合的に考え、幅広い視野と専門知識をもつ人材を育てることを教育の目的としています。そのために、以下に示すような学生像を求めています。

- ① 現代に生起している問題に関心をもち、経済と社会の仕組みを理解しようとする意欲を持つ人
- ② 様々な社会現象を理解するために必要な幅広い基礎学力を有している人
- ③ 社会の変化に対応するために、生涯に亘って学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学修能力を大学で得たいと考えている人

〔経済学科で学ぶために必要な能力や適性及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

社会で生起している問題を理解するためには幅広い基礎知識が必要です。様々な知識や情報をもとに自分なりの考えをまとめるためには、文章の読解力だけでなく、論理的に記述する国語力が求められます。また、経済学には、数学的な思考が必要な分野も含まれます。したがって、高等学校の教科書レベルの知識を習得していることが重要です。専門高等学校から進学する場合には、普通科の科目だけでなく、商業科目の基本的な知識と技能を習得しておくことが求められます。社会問題への関心と情報収集能力が必要です。

国際性が求められる時代においては、英語を中心とした外国語だけでなく、歴史や地理などの幅広い知識が国際経済や国際政治などの理解を深めるために必要です。また、経済や経営、法律に関連する社会現象に関心を向け、関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

経営学科

経営学科は、企業の経営・会計を学び、企業経営について幅広い視野と専門知識をもつ人材を育てることを教育の目的としています。そのために、以下に示すような学生像を求めています。

- ① 企業の経営や会計を学びたいという強い意欲を持つ人
- ② 様々な社会現象を理解するために必要な幅広い基礎学力を有している人
- ③ 社会の変化に対応するために、生涯に亘って学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学修能力を大学で得たいと考えている人

〔経営学科で学ぶために必要な能力や適性及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

企業の経営や会計を理解するためには幅広い基礎知識が必要です。様々な知識や情報に基づいて、自分なりの考えをまとめるためには、文章の読解力だけでなく、論理的に記述する国語力が求められます。また、経営学や会計学には、高等学校の教科書レベルの数学の知識や考え方を応用する分野も含まれます。専門高等学校から進学する場合には、普通科の科目だけでなく、商業科目の基本的な知識と技能を習得しておくことが望まれます。

国際性が求められる時代においては、英語を中心とする外国語だけでなく、歴史や地理などの幅広い知識が国際経済や国際ビジネスに対する理解を深めます。一方、社会問題への関心と情報収集能力が必要です。また、経済や経営、法律に関連する社会現象に関心を向け、関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

経済法学科

経済法学科は、経済と社会の規範である法律を学び、法政策について幅広い視野と専門知識をもつ人材を育てることを教育の目的としています。そのために、以下に示すような学生像を求めています。

- ① 現代の経済と社会の仕組みや規範について考えることに関心のある人
- ② 様々な社会現象を理解するために必要な幅広い基礎学力を有している人
- ③ 社会の変化に対応するために、生涯に亘って学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学修能力を大学で得たいと考えている人

〔経済法学科で学ぶために必要な能力や適性及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

経済と社会の規範である法律について理解するためには幅広い基礎知識が必要です。法律の用語や内容を理解するためには国語力が不可欠です。法律を学ぶには社会と政治についての知識が必要で、そのためには、歴史や

地理などの幅広い知識は重要なものとなります。国際性が求められる現代において、英語を中心とする外国語が重要であることは言うまでもありません。

そして、経済学や経営学も含めた幅広い学修が求められるため、高等学校の教科書レベルの数学の知識が必要となります。また、社会問題への関心と情報収集能力も必要です。経済や経営、法律に関連する社会現象に関心を向け、関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

入学者選抜の基本方針

経済学部教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての人を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解するために必要な基礎学力として、国際的な視野で情報を収集し理解するための英語力を有しているかを判断するために、個別試験によって英語の基礎学力を評価します。

【後期日程】大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、社会科学の専門知識を得るために必要な基礎学力として、文献や資料の読解力と論理的思考能力および表現力を有している

かを判断するために、個別試験の小論文によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」（「普通科又はこれに準ずると本学部が認める科推薦」と「商業系の科、情報系の科、総合学科推薦」の2区分）により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。本学部の選考では、大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、調査書によって高等学校での学習達成度を評価するとともに、専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性を有しているかを判断するために小論文を課し、書類審査と口頭試問によって本学部に対する明確な志望動機や入学後の学修意欲を評価します。なお、商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象にした区分では、簿記検定などの資格取得といった経済学部の勉学に関連した学習実績も評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学修するために必要な基礎学力として、日本語試験と日本語による口頭試問を行い、日本留学試験の結果と合わせて、入学後の学修に必要な語学力を持っているかを判断します。それと同時に、日本留学試験、書類審査、口頭試問によって、汎用的な学力および専門科目を学ぶために必要な基礎学力を評価します。さらに、本学部に対する明確な志望動機や入学後の学修意欲を有しているかを評価するために、書類審査と口頭試問を行います。

医 学部

求める学生像

医学部は、教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応える良き医療人を育成し、もって医学・看護学の発展並びに地域包括医療の向上に寄与することを基本理念とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

医学科

医の実践において、強い生命倫理観に基づくとともに広い社会的視野の下に包括的に問題をとらえ、その解決を科学的・創造的に行うような医師を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 医学への志を持ち、医学・医療により社会に貢献したいと考える人
- ② 他者への思いやりを持ち、コミュニケーションを取ることができる人
- ③ 学習と医療の研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- ④ 医学を学ぶために必要な基礎的学力・能力を備えている人
- ⑤ 生涯を通して、医学・医療について勉学する意欲のある人

〔医学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

医学は、生命科学を中心に自然科学のあらゆる分野が密接に関連しているとともに、人間を対象とする人文・社会科学の要素が深く関わっています。そのため、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく、幅広く習得しておくことが必要です。特に、生物・化学・物理・数学の基本的事項を充分理解し、それに基づく論理的な思考ができるようにしておく必要があります。さらに、大学の学習で用いる参考書等の理解、レポートの作成、グループ討論や発表に必要な国語力、英語力およびコミュニケーション能力を獲得していることも重要です。また、医学への志を確かなものにするために、医学・医療をとりまく社会に目を向け、読書やボランティア活動、医療関連に携わる先輩との交流などの取組

みを通じて、自らキャリアデザインを考える積極的な姿勢が望まれます。

看護学科

高い倫理観に基づき健康についての問題を包括的にとらえ、柔軟に解決する実践能力を持った看護職者を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 人間に関心を持ち、人々の健康と福祉に貢献したいと願う人
- ② 豊かな感性と表現力を身につけている人
- ③ 相手の立場に立って、柔軟に物事を考えられる人
- ④ 看護職に夢を持ち、理想とする看護職者を目指そうとする人
- ⑤ 幅広い基礎学力と論理的な思考力を備えている人
- ⑥ 生涯を通して、看護学や医療について勉学する意欲のある人

〔看護学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

看護学は、健康な人から病をもつ人まで様々な健康レベルの人々を対象とした実践科学です。人間は身体的・精神的・社会的存在で、環境と相互作用しながら健康を維持しています。これらの健康のしくみには、自然・人文・社会科学の要素が深く関わっているため、看護学の学習のためには、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく、幅広く習得しておくことが必要です。看護実践の基礎となる、看護の知識と専門的技術の修得には、特に、生物・化学・物理・数学の基本的事項を理解し、論理的な思考ができるようにしておく必要があります。また、看護は人間関係を通して実施されるため、文章による意思の疎通に必要な国語力や自己・他者間の理解を共有するためのコミュニケーション能力を獲得していることも重要です。大学での学習は、看護の生涯学習の基盤となるため、国内外の社会に目を向け、読書やボランティア活動などの自己啓発の取組みを通じて、自ら考える積極的な姿勢が望まれます。

入学者選抜の基本方針

医学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力、明確な志望動機や入学後の意欲等、医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、学力検査（医学科）、小論文（看護学科）、面接試験および調査書によって評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、調査書、自己推薦書および面接試験によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質および経験を有し、そして本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」（看護学科）、「推薦入試Ⅱ」（医学科）、「佐賀県推薦入学」（医学科）、「帰国子女」（医学科）、「社会人」（看護学科）の5つの入試区分により、入学希望者を選考します。なお、「推薦入試Ⅱ（佐賀県枠）」と「佐賀県推薦入学」については、将来、佐賀県内の医療活動に、また「推薦入試Ⅱ（長崎県枠）」については、将来、長崎県内の医療活動に貢献したいという強い意志を持つ者を対象とします。

【推薦入試Ⅰ】（看護学科）出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、調査書と小論文によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ】（医学科）出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されるこ

とを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【佐賀県推薦入学】（医学科）出願要件を満たし、佐賀県から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【帰国子女】（医学科）出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査と書類審査によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【社会人】（看護学科）出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、書類審査と小論文によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

3年次編入学試験（看護学科）

短期大学、専修学校及び高等学校の専攻科の課程の卒業生で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者を対象に3年次編入学試験を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、小論文と書類審査によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試（医学科）

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、日本留学試験、TOEFLの成績および書類審査によって評価します。さらに、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

理 工学部

求める学生像

理工学部は、幅広い教養と科学・技術の専門的な素養を持ち、社会の広い分野で活躍できる人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

数理科学科

数理科学科では、数学及び数理科学の領域において、広く社会で活躍できる高度な専門知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者となる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学および数理科学の分野の専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人
- ② 数学および数理科学の分野で、専門的知識を社会に活用できる教育者、技術者を目指す人

〔数理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

数学の概念や論理的厳密性を修得するためには、微分積分、線形代数、集合・位相といった数学の基本的な考え方や手法を身につけることが必要です。そのためには、高等学校で履修する数学の基礎的理解と応用力が不可欠です。さらに、自然科学の基本的な概念や原理・法則を理解して科学的な自然観を養っておくことは、学びの視野を広げることに繋がります。そのため、高等学校で学ぶ理科についても教科書レベルの知識を有していることが望まれます。一方、専門科目に限らず、大学では多くのレポートを書くことが一般的です。レポート作成には、文章の読解力と記述力さらには社会的な常識が必要となります。したがって、高等学校で学ぶ国語や社会の基礎的な学力は必要です。さらに、日本語文献だけでなく英語文献などもセミナー形式で学習しますので、英文の基礎的な読解力だけでなく、自分で辞書等を調べて英文を読みこなす習慣をつけておくことが必要です。

物理科学科

物理科学科では、広範な自然現象を理解する試みを通して、現代の科学技術を支える学力と、柔軟性に富んだ豊かな発想力を培い、広い分野で活

躍できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

① 理数系科目の学力に優れ、自然科学に対して強い興味を持つ人
〔物理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

物理学における基本的な概念や法則を理解するためには、高等学校で履修する物理と数学の基本的事項の理解および計算能力だけでなく、それらの知識に基づく論理的な思考力が求められます。また、実験や観測を通して法則を見出すための洞察力も必要です。さらに、専門的な知識や考え方を修得するためには、海外の文献にも目を通すことが必要であり、高等学校の教科書レベルの英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

知能情報システム学科

知能情報システム学科では、情報科学及び情報工学の学問領域における専門知識・能力及び広い視野を持ち、知識基盤社会を担う人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 全般的な基礎学力を備え、特に数学、理科の学力を備えた人
 - ② ITに対する興味と基礎知識がある人
 - ③ ソフトウェア開発や情報システムの構築に取り組む意欲のある人
- 〔知能情報システム学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

知能情報システム学科では、ITの理論の専門基礎を重点的に教育します。そのため、高等学校で数学及び理科の基礎事項を理解し、教科書レベルの問題を解く能力を求めます。文書作成、口頭発表の能力を育成しますので、国語の学力が重要です。専門文献を読むため及び国際社会で活躍するための語学教育に必要な英語の学力も要求します。また、幅広い文化、自然、社会の素養を修得するために広範な基礎学力も必要です。本学科では、実験科目や卒業研究を通してグループの中で協調性、自主的学習能力、情報収集能力などを育成します。したがって、良識的に行動し、高い学習意欲を持ち、知識の獲得に積極的な学生の入学を望みます。

機能物質化学科

機能物質化学科では、化学を通して継続的に社会に貢献することのできる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 日頃から身の回りにある物質・材料がどのような化合物からできていて、その機能はどのような原理に基づいているのかに興味を持って調べ、自らの手で新しい機能物質を創り出すことに意欲を持つ人
- ② 化学はもちろん生物・物理・数学など理数系科目が得意で、国語・社会・英語などの基礎学力を身に付けた人

〔機能物質化学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

化学は、物質の構造や機能の関係を明らかにするために、様々な物質を詳細に調べ、新しい物質の合成や分解を行います。そのため、既存物質の特性を正確に把握し、必要な仮説と検証実験、そして得られた結果の論理的説明が求められます。このように化学を専門的に学ぶためには、高等学校で学習する化学の基本事項を十分に理解していることが必要です。また、実験等で取得したデータ解析には、計算能力や数学的思考力が求められ、物質の物理的性質や生物学的性質を理解するためには物理学や生物学の知識が必要となります。したがって、高等学校で学習する数学、物理および生物の基礎学力は、化学を専門的に理解するためには欠かせないものです。さらに、新しい知識や技術を身につけるためには、外国の文献等にも目を通す必要があり、基礎的な英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

機械システム工学科

機械システム工学科では、機械工学及びその関連の領域において、専門的な基礎知識及びその応用力並びにものづくりの素養を身に付けた技術者となる人材を育成します。

① 理数系の基礎学力とともに倫理観を持ち、「ものづくり」に興味のある人
〔機械システム工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

機械工学は、すべてのものづくりに欠かせない技術であり、それを修得するためには、高等学校で学ぶ数学と物理および化学の基本的事項を理解し、教科書レベルの基本問題を解く能力を十分身につけておく必要があります。また、講義を理解して、レポートを作成したり、自分が調べたものを発表するためには、読解力や記述力を中心とする国語能力だけでなく、現代社会の仕組みや歴史、文化など高等学校の社会科で学ぶ一般的な知識も求められます。さらに、英文の読解や作成、外国人とのコミュニケーションなど様々な分野で将来的に活躍するためには、高等学校で学ぶ基礎的な英語力は欠かせないものです。そして、ものづくりを通じた社会への貢献に興味と熱意を持つことを期待します。

電気電子工学科

電気電子工学科では、電気工学及び電子工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

- ① エレクトロニクスや情報通信関連のハードウェアやソフトウェアなどの「もの創り」への関心を持ち、あるいは世界的視野に立ったエネルギーや環境問題などにも興味を持った意欲のある人
 - ② 高校時代においては数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけた人
- 〔電気電子工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

電気電子工学科に入学した学生は、日本の誇る大企業や九州の有力企業をはじめとする社会の第一線で活躍できるよう、電気電子工学に関連した様々な理数系専門科目を学びます。技術文書を正確に書く練習や、技術英語の修得も行います。そして、それらを駆使して社会に役立つものを創り出す研究活動も行います。そのため、入学時点で、数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけていることが必要です。国語、英語、社会の基本的な知識を学んでいることも必要です。高校等での学習においては、教科書の範囲で解ける標準的な問題を、確実に解けるようにすることを望みます。社会で活躍できることを目指して育成しますので、もの創りへの関心や、エネルギーや環境問題等への興味が必要であり、男女を問わず意欲ある人の入学を望みます。

都市工学科

都市工学科では、都市工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

- ① 私たちの暮らしを支える社会基盤や自然環境、建築デザインなどに興味のある人
- ② 専門教育に必要な基礎学力と勉学意欲を有している人
- ③ 自律的な学習を支える責任感、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志を持つ人

〔都市工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

都市における交通体系や水・エネルギー供給のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤・施設の整備と安全・安心の確保は非常に重要ですが、同時に自然環境や歴史、風土等との調和も必要です。都市工学科では、都市や地域に関する理解、形態や空間を扱うデザインも学問対象としていますので、様々な社会的事象および文化や歴史についても関心を持つことが求められます。したがって、都市工学科の志願者には、高校で学ぶ数学・物理など自然科学の基礎力、論理的思考を支える国語力、英語で書かれた文献の理解のための英語力、さらに地域の文化や歴史に目を向け得るための社会

的な基礎知識などが求められます。

入学者選抜の基本方針

理工学部教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって数学と理科、英語の基礎学力を評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、各学科の専門科目と特に関係の深い教科および科目について高い学力を有しているかを判断するために、個別試験によって各学科が指定する科目の学力を評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」、「推薦入試Ⅱ」及び「帰国子女」の3つの入試区分により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、調査書、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、適性および明確な入学の意思を有しているかを判断するために、調査書と推薦書によって評価します。

【帰国子女】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で

学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

3年次編入学試験

各学科の専門分野において、さらに高度な専門教育・研究を希望する他教育機関からの学生を対象に3年次編入学試験を行います。編入学試験では、「一般入試」、「推薦入試」および「外国人留学生特別入試」の3つの区分により、入学希望者を選考します。

【一般入試】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、口頭試問および成績証明書等によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

【推薦入試】出願要件を満たし、各所属長から推薦されることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、推薦書、小論文および口頭試問によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【外国人留学生特別入試】出願要件を満たし、各所属長から推薦されることを前提とします。その上で、入学後の学習に必要な日本語の習得について判断するために、日本留学試験の成績を用いて評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、口頭試問および成績証明書等によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力として、日本留学試験、TOEFLの成績および面接試験によって入学後の学習に必要な語学力について評価すると同時に、日本留学試験、書類審査および口頭試問によって汎用的な学力を有しているかを評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

農学部

求める学生像

農学部は、農学及び関連する学問領域において、多様な社会的要請にこたえる幅広い素養と実行力を身に付けた人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

応用生物科学科

応用生物科学科では、生物の特性を理解し、生物の改良や活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 多様な動植物の生理生態的特性の解明、バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用、有用動植物を加害する病害虫の制御等についての理解と関心がある人
- ② 問題解決に向けて、粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人

- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

〔応用生物科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

生物に対する興味が有り、生物の機能また生物が生育する環境について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持

つこと、さらに、教員、先輩、友人、留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

生物環境科学科

生物環境科学科では、3つのコースにおいて次のような人材を育成します。生物環境保全学コースでは、地球上の環境や生態系を深く理解し、これらの保全、再生及び活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。資源循環生産学コースでは、生物科学及び生産情報科学の理論と技術を学び、環境に配慮した食糧生産と環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。地域社会開発学コースでは、フィールドワークに基づく教育研究を通して、日本を含むアジア・太平洋諸地域における、持続可能な循環型地域社会の構築に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 自然環境、社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
- ② 持続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲がある人
- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

〔生物環境科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

人間を含む生物やそれを取り巻く環境及び人間社会に対する興味があり、これらを総合的に学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学の課題にはグローバルな問題が多くあり、それを解決する糸口を得るため、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が望まれます。

生命機能科学科

生命機能科学科では、科学的思考力を備え、生命科学技術の応用を通して、食と健康の分野において社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス、食品の生体調節機能、栄養機能や安全性等に興味を持っている人
 - ② 将来、本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人
- 〔生命機能科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

生命現象に対する科学的興味があり、微生物から高等生物までの生命体が持つ機能について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。

さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

入学選抜の基本方針

農学部教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と

多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」と「英語」の基礎学力を評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を深く理解するために必要な数理的な思考力・表現力に関する高い能力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」の基礎学力を評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「帰国子女」の2つの入試区分により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(調査書、推薦書、作文等)、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【帰国子女】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(成績証明書等)、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

3年次編入入学試験

短期大学及び専修学校の卒業者等で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者学生を対象に3年次編入入学試験を行います。

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、書類審査(成績証明書等)、学力検査(英語)、口頭試問および面接試験等によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力として、日本留学試験、TOEFLの成績および面接試験によって入学後の学習に必要な語学力について評価すると同時に、日本留学試験、書類審査(成績証明書等)および口頭試問によって汎用的な学力を有しているかを評価します。

また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

教育学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象コース・専攻
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目(または6教科7科目)の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試(前期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		調査書によって、高等学校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試 (推薦入試Ⅰ：佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース (特別支援教育専攻) 小中連携教育コース (初等教育主免専攻)
			特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		小論文によって、問題理解力、文章構成力、論理性、表現力、知識について評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
			特別入試 (推薦入試Ⅰ：佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース (特別支援教育専攻) 小中連携教育コース (初等教育主免専攻)
			特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		基礎学力試験によって、外国語(英語)について高等学校教科書レベルの基礎学力を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ)	幼小連携教育コース (特別支援教育専攻)
		基礎学力試験によって、外国語(英語)と数学について高等学校教科書レベルの基礎学力を評価します。	特別入試 (推薦入試Ⅰ(佐賀県枠))	小中連携教育コース (初等教育主免専攻)
		日本留学試験において、文系科目または理系科目の成績を用いて、基礎的な学力を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		日本語作文および面接試験において、基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		書類審査(成績証明書等)において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	大学入試センター試験において、5教科7科目(または6教科7科目)の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試(前期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		個別学力検査において、高等学校で履修する英語の基礎的な知識だけでなく、長文読解力、論理的思考力および表現力等を有しているかを記述式によって評価するとともに、国語と数学のいずれか1教科について、標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力を記述式によって評価します。	一般入試(前期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		個別学力検査において、高等学校で履修する英語について、基礎的な知識だけでなく、長文読解力、論理的思考力および表現力等を有しているかを記述式によって評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		小論文によって、問題理解力、文章構成力、論理性、表現力、知識について評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
			特別入試 (推薦入試Ⅰ：佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース (特別支援教育専攻) 小中連携教育コース (初等教育主免専攻)
			特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		適性検査において、志望分野で学ぶために必要な基礎能力および適性について評価します。	特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		面接試験において、志望分野で学ぶために必要な基礎能力および適性について評価します。	特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		活動実績報告書によって、志望領域に関するこれまでの活動実績を評価します。	特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		書類審査(成績証明書等)において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
興味・関心・態度・意欲	志望コース・専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試(推薦入試Ⅰ)	幼小連携教育コース (特別支援教育専攻)
		志望理由書における志望理由を評価します。	特別入試 (推薦入試Ⅰ(佐賀県枠))	小中連携教育コース (初等教育主免専攻)
		志願理由書における志願理由を評価します。	特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		活動実績報告書によって、志望領域に関するこれまでの活動実績を評価します。	特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		面接試験において、志望コース・専攻で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試 (推薦入試Ⅰ：佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース (特別支援教育専攻) 小中連携教育コース (初等教育主免専攻)
			特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		面接試験において、教育学部で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース

芸術地域デザイン学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象コース
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、3教科3科目の国語、外国語を中心とした基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、3教科4科目（または4教科4科目）の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		大学入試センター試験において、4教科4科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（後期日程）	地域デザインコース
		総合問題によって、読解力、論理的思考力、分析力、考察力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		調査書によって、高等学校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（AO入試）	芸術表現コース
			特別入試（AO入試）	地域デザインコース
		適性検査によって、基本的な学習能力を評価します。	特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（AO入試）	地域デザインコース
		日本留学試験において、コースが指定した科目について基礎的な学力を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース
		日本語作文および面接試験において、基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試	地域デザインコース
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース
		TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	大学入試センター試験において、3教科3科目の国語、外国語を中心とした基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、3教科4科目（または4教科4科目）の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		大学入試センター試験において、4教科4科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（後期日程）	地域デザインコース
		総合問題によって、読解力、論理的思考力、分析力、考察力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		問題解決・提案力テストによって、企画力、発想力、表現力等を含む問題解決能力及び提案力を評価します。	一般入試（後期日程）	地域デザインコース
		実技検査によって、基本的な技術を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 私費外国人留学生入試	芸術表現コース
			特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
		ポートフォリオによって、これまでの作品や実績、表現力を評価します。	特別入試（AO入試） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	芸術表現コース
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（AO入試）	地域デザインコース
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース
興味・関心・態度・意欲	志望コースで学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	芸術表現コース
		志願理由書において、学習意欲を評価します。	特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
		面接試験において、志望コース・分野で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	芸術表現コース
			特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
			私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース
		特色加点申請書（申請者のみ）によって、志望領域に関するこれまでの活動実績を評価します。	特別入試（AO入試）	地域デザインコース

経済学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等		評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、4教科5科目の主要教科についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
			調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
			小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）
			日本留学試験において、文系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
			日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
			面接試験において、基礎的な日本語能力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	大学入試センター試験において、4教科5科目の主要教科についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
			個別試験で、高校で履修する「英語」における、基礎的な英文の読解力および英語作文力を記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
			小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）
			推薦書によって、高校時代に取得した資格を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） ※商業系の科、情報系の科、総合学科推薦のみ
			口頭試問によって、本学部で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 私費外国人留学生入試
			日本留学試験において、文系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
			書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
			推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
			志願者本人の自筆の作文によって、志望理由、入学後の意欲等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
			面接試験において、本学部で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 私費外国人留学生入試

医学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	評価方法		入試方法	対象学科
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な基礎学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
			一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	看護学科
		大学入試センター試験において、5教科6科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
			一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
			特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（前期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（社会人） 3年次編入学試験	看護学科
			特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
		日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
		日本留学試験と面接試験において、基本的な日本語力を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
		TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科

観点	評価方法		入試方法	対象学科
興味・関心・態度・意欲	医療従事者としての適性および明確な志望動機や入学後の意欲等	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
			一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
		自己推薦書の内容について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）	医学科
			一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
		推薦書において、推薦の理由を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
			特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
			一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（社会人） 3年次編入学試験	看護学科

理工学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
		日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価する。	私費外国人留学生入試
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
		TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理、化学および英語に関する標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理および化学の中から1つの科目について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）
		調査書において、専門科目を理解できる基礎学力及び適性を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅱ）

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な基礎学力 専門科目を学ぶために必要な基礎学力	学力検査において、数学、英語、専門科目に関する標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力について記述式によって評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試

農学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
		日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
		TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		個別試験において、高校で履修する「数学」について、標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力を記述式によって評価します。また、「英語」では、長文読解力、論理的思考力等を有しているかについて記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）
		学力検査において、英語文章の読解力について評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
		調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）

Ⅱ 募集要項

1 募 集 人 員

学 部	学 科 ・ 課 程 等 名				募集人員	備 考
教育学部	学校教育課程	幼小連携 教育コース	幼 小 発 達 教 育 専 攻		各専攻とも 若 干 人	○ 日本語を理解できる者 ○ 4専攻の中から1専攻を 志望してください。
			特 別 支 援 教 育 専 攻			
		小中連携 教育コース	初 等 教 育 主 免 専 攻			
			中 等 教 育 主 免 専 攻			
芸術地域 デザイン 学 部	芸術地域 デザイン 学 科	芸術表現 コ ー ス	美術・工芸分野		各コースとも 若 干 人	○ 日本語を理解できる者 ○ 2コースの中から1コ ースを志望してください。 ○ 入学して1年後にそれ ぞれの分野に分かれます。
			有田セラミック分野			
		地域デザイン コ ー ス	地域コンテンツ デ ザ イ ン 分 野			
			キュレーション分野			
			フィールドデザイン 分 野			
経済学部	経 済 学 科		各学科とも 若 干 人	○ 日本語を理解できる者 ○ 3学科の中から1学科を 志望してください。		
	経 営 学 科					
	経 済 法 学 科					
医 学 部	医 学 科		若 干 人	○ 日本語を理解できる者		
理工学部	数 理 科 学 科		各学科とも 若 干 人	○ 日本語を理解できる者 ○ 7学科の中から1学科を 志望してください。 ○ 機能物質化学科は、入 学して1年後にそれぞれの コースに分かれます。 ○ 都市工学科は、入学し て1年半後にそれぞれの コースに分かれます。		
	物 理 科 学 科					
	知 能 情 報 シ ス テ ム 学 科					
	機能物質 化 学 科	物 質 化 学 コ ー ス				
		機 能 材 料 化 学 コ ー ス				
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科					
	電 気 電 子 工 学 科					
	都 市 工 学 科	都 市 環 境 基 盤 コ ー ス				
		建 築 ・ 都 市 デ ザ イ ン コ ー ス				
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科		各学科とも 若 干 人	○ 日本語を理解できる者 ○ 3学科の中から1学科を 志望してください。 ○ 生物環境科学科は、入 学して1年後にそれぞれの コースに分かれます。		
	生物環境 科 学 科	生 物 環 境 保 全 学 コ ー ス				
		資 源 循 環 生 産 学 コ ー ス				
		地 域 社 会 開 発 学 コ ー ス				
	生 命 機 能 科 学 科					

2 出 願 資 格

日本の国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(平成28年6月又は平成28年11月実施のいずれか、医学部は平成28年11月実施のみ)を受験し、TOEFLを受験済みの者(経済学部を除きます。)で、次に掲げる入学資格を有する者

- (1) 日本国外において、学校教育による12年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (2) 上記(1)に準ずる者で、文部科学大臣の指定する者

3 出 願 期 間

平成29年 1 月19日(木)から 1 月24日(火)17時必着とします。

出願書類は、「速達書留」郵便により提出してください。

なお、配達に要する日時等を考慮して早めに郵送してください。特に海外から出願する場合は注意してください。

4 出願に必要な書類

出願書類等	摘 要
(1) 入 学 検 定 料 1 7 , 0 0 0 円	本要項に添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 なお、次の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。 ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合
(2) 検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
(3) 入 学 志 願 票	22ページの記入上の注意を参考に必要事項を自筆で記入してください。
(4) 写 真 2 枚 (4 cm × 3 cm) 写真票・受験票	上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影したものを写真票及び受験票の所定欄に貼り付けてください。
(5) 履 歴 書	所定の履歴書に自筆で記入してください。(学校教育歴については、すべての教育機関にわたって、名称及び入学・卒業の年月を明記してください。)
(6) 高等学校等の 卒業(修了) 証明書(注1) (注6)及び 学校要覧等	○高等学校等の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込み証明書を提出してください。 ○国際バカロレア資格取得者等は、その資格証書の写しを提出してください。 ○卒業(修了)した高等学校等の沿革、概要及びカリキュラムを記載した学校要覧等(写しでも可)を可能であれば提出してください。 ※外国の学校又は機関が作成する書類が日本語以外の場合は、日本語訳の添付に努めてください。
(7) 成績証明書等 (注6)	○卒業(修了)した高等学校の成績証明書(学校長が作成したもの)を提出してください。 ○飛び級や繰り上げ卒業の事実があれば記載してください。 ○科目名、成績評価等が符号又は略字等により表示されている場合は、その説明書を添付してください。 ○国際バカロレア資格取得者は、最終試験6科目の成績証明書を提出してください。 ○アビトゥア資格取得者は、一般的大学入学資格証明書に記載されている成績の写しを提出してください。 ○バカロレア資格(フランス共和国)取得者は、成績証明書を提出してください。 ○各国の教育制度による、国家試験等の統一試験を受験している者は、成績評価証明書を必ず提出してください。 ・Scholastic Aptitude Test (SAT) (アメリカ) ・American College Testing-Examination (ACT) (アメリカ) ・General Certificate of Education (GCE) (イギリス) ・その他の国の成績評価証明書(なお、統一試験制度についての公式資料等を添付してください。) ※外国の学校又は機関が作成する書類が日本語以外の場合は、日本語訳の添付に努めてください。
(8) 日本留学試験 成績通知書(写)	「日本留学試験(注2)」(平成28年6月又は平成28年11月実施のいずれか、医学部は平成28年11月実施のみ。)の成績通知書の写しを提出してください。
(9) 返信用封筒	受験票を送付しますので、本学所定の封筒の表面に「日本国内の連絡先」の住所、氏名、郵便番号を明記の上、362円分の切手を貼り付けてください。

(10) 住 所 届	合格通知書は、住所届に記載された「 合格通知書送付先 」に送付しますので、日本国内の住所を正確に記入してください。 なお、出願後、住所に変更があった場合は、本学入試課へ電話により連絡するとともに、ハガキ等書面でもお知らせください。
(11) TOEFL (注3) Official Score Report (経済学部を除きます。)	TOEFL スコアは平成27年1月以降に受験した成績を有効とします。TOEFL スコアはインターネット版 TOEFL (TOEFL-iBT)、ペーパー版 TOEFL (TOEFL-PBT) を問いません。 ※なお、Official Score Report (注4) (注5) が出願期間内に届かない場合は、書類不備のため出願を受け付けませんので、必ず出願期間内に届くよう手続きをしてください。
(12) 「住民票」又は 「在留カード」 の 写 し	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの)を提出してください。(在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可) ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し(写真及び在留資格・期間の分かるページ)を提出してください。

(注1) 合格者について、平成29年3月卒業見込みの者は「卒業証明書」を卒業後速やかに提出してください。

(注2) 「日本留学試験」：独立行政法人 日本学生支援機構が実施する試験

問い合わせ先 〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29
独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課
電話 03-6407-7457 FAX 03-6407-7462
E-Mail eju@jasso.go.jp web <http://www.jasso.go.jp/>

(注3) TOEFL：アメリカにある ETS (Educational Testing Service) が世界中で実施している英語能力測定試験
<http://www.ets.org/toefl/>

(注4) 〈送付依頼方法〉 Official Score Report を佐賀大学へ送付する方法は、

① TOEFL-iBT 試験で、受験申し込みの方法

1. オンラインでの申し込みの場合は、申し込み時にリストから佐賀大学を探し選択してください。
2. 郵送での申し込みの場合は、申込用紙に DI コード 8267 及び Department コード 00 を記入してください。
申し込みの際に依頼すれば、**無料** で送付依頼ができます。申し込み時でない場合は、有料となります。
(受験日より2年以内のみ有効)

② TOEFL-PBT 試験の場合は、当日に佐賀大学の DI コード 8267 を記入してください。

試験当日は、無料で送付依頼ができます。試験当日でない場合は、有料となります。(受験日より2年以内のみ有効)

(注5) 〈発送にかかる期間〉 Official Score Report が、受験日から佐賀大学に届くまでには、

① TOEFL-iBT 試験の場合、約 4～6 週間後

② TOEFL-PBT 試験の場合、約 7～8 週間後

になるようです。なお、Official Score Report は、平成29年1月24日(火)までに届くように申請してください。

(注6) 中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、2012年8月1日より、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しないとする案内を行いました。

今後、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の公証・認証手続きは、中国国内の教育部学歴認証センター(北京市)または各地方の公証処(各地方の司法局に認定された機関)において、行われることとなります。また、教育部学歴認証センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。

したがって、日本国内において留学生入試の出願手続きを行う中国出身の方は、出願書類の準備により多くの時間がかかることが予想されますので、早めに手続きを開始するようにしてください。

なお、具体的な手続き方法については、以下のホームページを参考にさせていただくとともに、詳細な質問については、中華人民共和国大使館教育処にお問い合わせください。

【ホームページ】URL:<http://www.chsi.com.cn/xlrz/> (中国語)

【問い合わせ先】中華人民共和国大使館教育処 Tel：03-3643-0305

東日本大震災又は熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

- (ア) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合
- (イ) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
- (ウ) 熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

- (ア) 「入学検定料免除申請書」
本学ホームページ「入試案内、募集要項等ダウンロード」からダウンロードできます。
- (イ) 「り災証明書（写し可）」（上記1. (ア)の①又は(ウ)の①に該当する者）
- (ウ) 「死亡又は行方不明を証明する書類」（上記1. (ア)の②又は(ウ)の②に該当する者）
- (エ) 「被災証明書（写し可）」（上記1. (イ)に該当する者）

5 出 願 方 法

- (1) 出願書類等は、本学所定の「出願用封筒」に入れ、「速達書留」とし、本学入試課あて、出願期間内に提出してください。
- (2) 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受理しません。（受理されなかった場合は、検定料の返還請求の手続きを行ってください。）
- (3) 出願書類受理後は、いかなる事情があっても住所・連絡先以外の記入事項及び書類の変更は認めません。

6 入 試 方 法

- (1) 教育学部、芸術地域デザイン学部、経済学部、理工学部、農学部
次頁のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績及びTOEFLの成績（経済学部を除きます。）並びに本学が行う学力検査・面接等の成績を総合的に判断し、最終的な合格者を決定します。
- (2) 医学部
次頁のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績及びTOEFLの成績並びに本学が行う学力検査・面接を総合的に判断し、最終的な合格者を決定します。
 - ① 学力検査の教科・科目名等
 - 数 学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（注）
 - 理 科 物理基礎・物理・化学基礎・化学
 - 外国語 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・
コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ
 - （注）数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
数学Bは、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

② 評価基準等

ア 学力検査

学力検査は、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているか、また、卒業後医療に従事する際に必要な問題解決、論理的思考、表現の各能力を在学中に修得する力を有しているかを問います。

イ 面接

面接は、医学部に入学するにふさわしい人物を選抜するために定めている評価項目の一つで、医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。

なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。

(3) 本学が行う学力検査等のうち一つでも受験しなかった者は、失格とします。

(4) 実施教科・科目等

事 項	教育学部		芸術地域 デザイン学部		経済学部	医学部	理工学部	農学部
			芸術表現コース	地域デザインコース				
利用する回の指定	6月、11月のいずれか		6月、11月のいずれか		6月、11月のいずれか	11月	6月、11月のいずれか	6月、11月のいずれか
出題言語の指定	日本語		日本語		日本語	日本語	日本語又は英語	日本語
文系と理系の別	文系	理系	文系		文系	理系	理系	理系
日 本 語	○	○	○		○	○	○	○
理 科	○		○		○	○	○	○
数学(コース1)	△	△	△		○	○	○	○
数学(コース2)	△	△	△		○	○	○	○
総 合 科 目	○	○	○		○	○	○	○
理科の選択科目	「物理」、 「化学」、 「生物」から 2科目選択		○		○	「物理」、 「化学」、 「生物」から2科目選択	「物理」、 「化学」、 「生物」から2科目選択	「物理」、 「化学」、 「生物」から2科目選択
TOEFL	○		○		○	○	○	○
学力検査等	面接、日本語(作文)		面接、 実技検査	面接、 日本語(作文)	面接、 日本語	面接、 学力検査	面接	面接
特記事項、備考	面接を通じて、教育学部の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。		鉛筆によるデッサン(実技道具は大学で準備します。)		日本語は、読解及び作文とします。	面接を通じて、志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通じて、志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通じて、志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。

(注1) ○印は、必ず受験しておくことを示します。

(注2) △印は、数学のコース1又はコース2から1つを受験しておくことを示します。

(注3) 各学部第1志望のみ。

(5) 日本留学試験、TOEFL、学力検査等の配点等

事 項	教育学部		芸術地域 デザイン学部		経済学部	医学部	理工学部	農学部
			芸術表現コース	地域デザインコース				
文系と理系の別	文系	理系	文系		文系	理系	理系	理系
日 本 語	450	450	450		325	450	450	450
理 科	200		200		200	200	200	200
数 学	200	200	200		100	200	200	200
総 合 科 目	200	200	200		100	200	200	200
TOEFL	300		300		300	300	300	300
面 接	400	400	500	400	合、否	60	A, B, C	850
日 本 語	500	500	500		300	240	240	240
学 力 検 査	200		200		200	240	240	240
実 技 検 査	200		400	200	200	240	240	240
総 合 評 価 等	2050		2050		合、否	合、否	良、可、不可	合、否

7 試験日程及び試験時間

学 部		試 験 日	試 験 時 間	学 力 検 査 等	試 験 場
医 学 部(注1)		平成29年 2月25日(土)	9：30～11：10	英語	佐 賀 大 学 (鍋島キャンパス)
			12：30～14：30	数学	
			15：30～17：00	理科	
		平成29年 2月26日(日)	9：10～	面接	
教 育 学 部		平成29年 3月1日(水)	10：00～ (注2)	面接, 日本語（作文）	佐 賀 大 学 (本庄キャンパス)
芸 術 地 域 デザイン学部	芸 術 表 現 コ ー ス			面接, 実技検査	
	地域デザインコース			面接, 日本語（作文）	
経 済 学 部				面接, 日本語（読解, 作文）	
理 工 学 部				面接	
農 学 部				面接	

(注1) 第1日目の学力検査を受検しなかった者は失格とし、第2日目の面接は受検できません。

(注2) 試験時間の詳細は、受験票を送る際に併せてお知らせします。

8 障がい等を有する志願者との事前相談について

障がい等を有する志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前に下記の内容を記載した申請書(様式は任意)を入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

*申請書の内容

志願学部・学科(コース・専攻)

障がいの種類・程度

受験上の配慮を希望する事項

修学上の配慮を希望する事項

出身学校等でとられていた配慮

日常生活の状況

連絡先(氏名、電話番号、住所、出身高校)

相談の時期

平成28年12月2日(金)まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

9 合格者の発表

合格者の発表は、次の日時に本学（学務部入試課）前に合格者の受験番号を掲示するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

全学部 平成29年 3 月 7 日(火)10時

また、合格者発表日の10時30分頃から本学ホームページでも確認できます。

なお、電話による合否の問い合わせには一切応じかねますので、ご了承ください。

10 入 学 手 続

(1) 入学手続期間

入学手続書類は、平成29年 3 月10日(金)から 3 月15日(水)17時までに必着するように発送してください。

期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

(2) 入学手続の内容

前記(1)の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料の納入を完了してください。

① 入学手続関係書類

本学所定の誓約書及び学生カード（合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します。）、写真（2枚）

② 入学料

282,000円（入学手続時に納入してください。）

※この金額は、平成28年 4 月現在のものです。

（留意事項）

- ① 入学時に入学料の改定が行われた場合には、改定後の入学料を納入していただくことになります。

なお、合格通知書送付の際、納入方法を含め、改めてお知らせします。

- ② 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

- ③ 下記「入学料免除の申請対象者」のいずれかに該当する特別な事情により入学料の納入が著しく困難であると認められる場合、定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い、入学料の全額又は半額免除及び徴収を猶予する制度があります。申請方法等については、学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせください。

入学料免除の申請対象者

- ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方
- ・入学前1年以内に本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた方

(3) 注意事項

- ① 一つの国公立大学に入学手続を完了したときは、それ以後にこれを取り消して、他の国公立大学に入学手続をとることはできません。

- ② 入学手続の全般にわたる詳細な手続方法は、入学手続関係書類の中に記載します。

11 授業料について

(1) 授業料の金額

前期分：267,900円 後期分：267,900円 [年額535,800円]

※この金額は、平成28年4月現在のものです。

(2) 納入方法

授業料は「口座振替制度」の利用をお願いしています。

(3) 口座振替日

前期分：平成29年5月29日(月) 後期分：平成29年11月27日(月)

(留意事項)

- ① 入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を納入していただくことになります。
- ② 下記「授業料免除の申請対象者」のいずれかに該当する場合、定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い、授業料（半期分）の全額又は半額を免除する制度があります。申請方法等については、学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせください。

授業料免除の申請対象者

- ・経済的理由（各種ローンや負債等の返済を除く）によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる方
- ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難と認められる方

12 入学許可の取消し

- (1) 平成29年3月までに学校教育における12年の課程を修了できない者は、入学許可を取消します。
- (2) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取消することがあります。

13 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学料・授業料免除、（入学料徴収猶予）及び奨学金等を含む。）に利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

14 入学志願票等の記入上の注意

- (1) 志願票等の記入に当たっては、募集要項を熟読の上、必ず志願者本人が黒のボールペン等を使用し、丁寧に記入してください。志願者（障がい等を有するなど）で記入が困難な場合は、保護者等が記入してください。
- (2) 学科・課程、コース、専攻のコード番号を記入する欄は「電算処理コード表（23ページ）」を参照し、正確に記入してください。
- (3) ※印欄は、記入しないでください。
- (4) 不明の点があれば、佐賀大学学務部入試課（電話0952-28-8178）に問い合わせてください。

① 氏名、性別、生年月日及び出身国名又は地域名欄

- 氏名は、以下の(1)～(3)の表記でそれぞれ記入してください。
 - (1)英字（アルファベット）による表記
 - (2)漢字又はカタカナによる表記（英字による略記を併用してもよい。）
 - (3)カタカナ（フリガナ）による表記
- 性別は、該当するコード番号を○で囲んでください。
- 西暦で生年月日を記入してください。月及び日が1ケタの場合は右づめとし、前1コマに「0」を記入してください。
- 出身国名又は地域名を記入してください。

② 最終出身学校名及びその卒業年月日を記入してください。

③ 志望学部及び学科・課程、コース、専攻

- 志望学部欄は、志望する学部のコード番号を○で囲んでください。
- 志望学科・課程、コース、専攻欄は、志望する学科・課程、コース、専攻名を記入し、コード欄は、「電算処理コード表（23ページ）」により、該当する学科・課程、コース、専攻名のコード番号の数字を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。

④ 現住所及び電話番号等

- 本学から出願書類等について連絡する場合がありますので、正確に記入してください。
なお、出願後、この欄に変更があった場合は、本学入試課へ電話により連絡するとともに、ハガキ等書面でもお知らせください。

⑤ 写真票、受験票

- 氏名及び志望する学部、学科・課程、コース、専攻名を所定の欄に記入してください。
- 上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影した写真を所定の欄に貼り、その上に同封の写真用シールを貼り付けてください。

⑥ 検定料振込証明台紙

- 氏名及び志望する学部・学科等を記入の上、「C票 検定料振込証明書」を所定の欄に貼付してください。

電算処理コード表

《学科・課程, コース, 専攻コード》

学部	学科・課程, コース, 専攻		コード
教 育 学 部	学 校 教 育 課 程	幼小連携教育コース	0 1
		小中連携教育コース 初等教育主免専攻	0 2
		小中連携教育コース 中等教育主免専攻	0 3
デ ザ イ ン 学 部	芸 術 地 域	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース	0 1
		芸術地域デザイン学科 地域デザインコース	0 2
経 済 学 部	経 済 学 科		0 1
	経 営 学 科		0 2
	経 済 法 学 科		0 3
医 学 部	医 学 科		0 1
理 工 学 部	数 理 科 学 科		0 1
	物 理 科 学 科		0 2
	知能情報システム学科		0 3
	機能物質化学科		0 4
	機械システム工学科		0 5
	電気電子工学科		0 6
	都 市 工 学 科		0 7
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科		0 1
	生 物 環 境 科 学 科		0 2
	生 命 機 能 科 学 科		0 3

15 過去3か年の志願者等状況

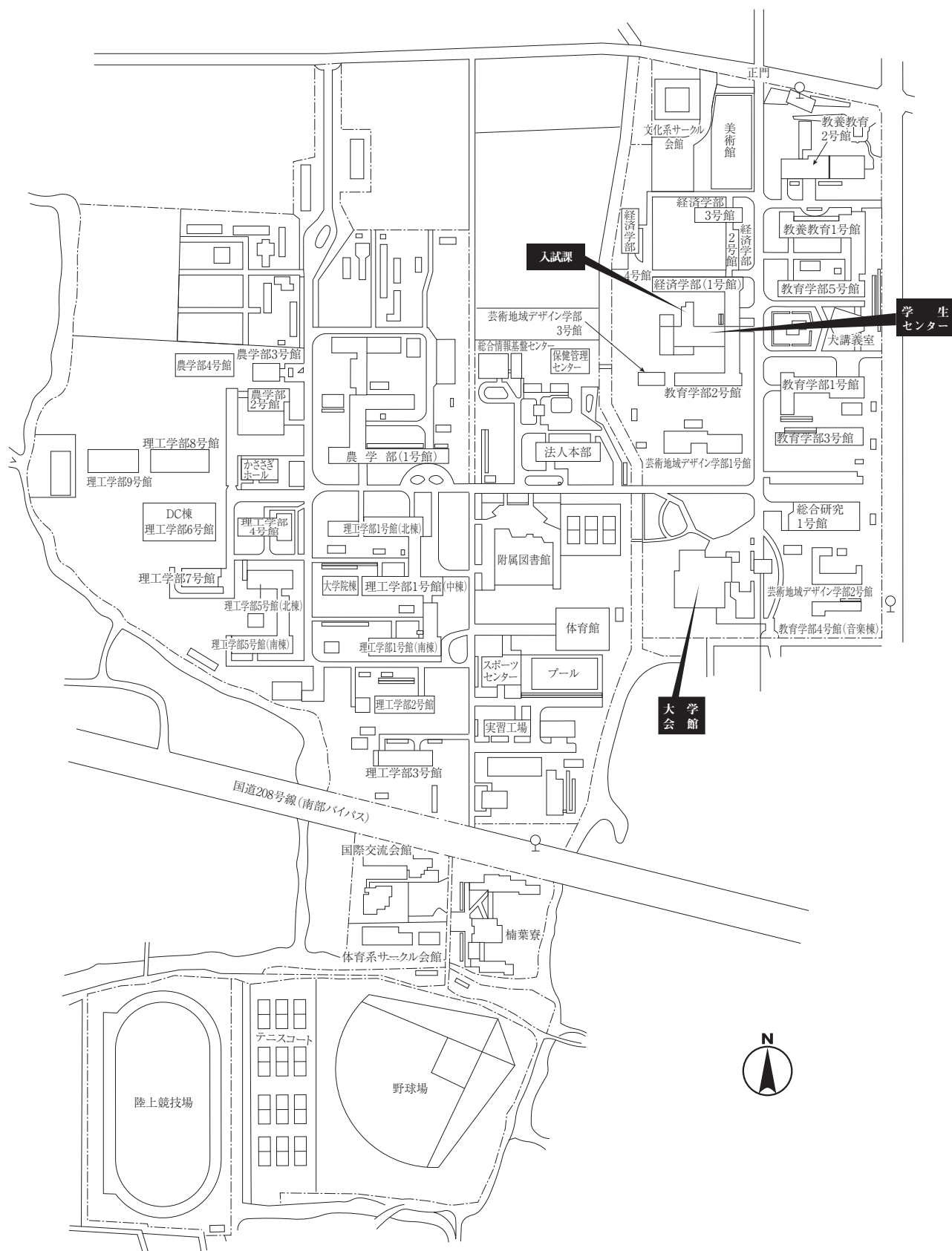
学部	学科・課程、選修		平成26年度				平成27年度				平成28年度						
			募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育学部	学校教育課程	幼小連携	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	若干人	1	1	0	0
		教育コース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	若干人				
		小中連携	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	若干人				
		教育コース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	若干人	1	1	1	0
	小計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		2	2	1	0
芸術地域デザイン学部	芸術表現コース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	若干人					
		地域デザインコース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	若干人				
	小計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		0	0	0	0
	経済学部	経済学	若干人	6	4	2	2	若干人	7	3	2	1	若干人	8	6	3	2
経営学		若干人	18	11	4	2	若干人	12	12	5	3	若干人	12	8	3	2	
経済法学		若干人					若干人	1	0	0	0	若干人	1	1	1	0	
医学部	小計			24(0)	15(0)	6(0)	4(0)		20(0)	15(0)	7(0)	4(0)		21	15	7	4
	医学	若干人	1	1	0	0	0	若干人					若干人	1	1	0	0
	小計		1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		1	1	0	0
理工学部	数理学	若干人						若干人					若干人	1	1	0	0
	物理学	若干人	1	1	1	1	1	若干人					若干人				
	知能情報システム学	若干人	1	1	1	1	1	若干人	2	0	0	0	若干人	2	1	1	1
	機械物質化学	若干人	1	1	1	1	1	若干人	2	0	0	0	若干人	2	0	0	0
	機械システム工学	若干人	6(2)	4(2)	2(2)	2(2)	2(2)	若干人	5(2)	4(2)	2(2)	2(2)	若干人	2(1)	2(1)	1(1)	1(1)
	電気電子工学	若干人	1	1	0	0	0	若干人					若干人	1	1	0	0
工学部	都市工学	若干人	2	2	2	2	2	若干人	1	1	1	1	若干人	2	2	1	0
	小計			12(2)	10(2)	7(2)	7(2)		10(2)	5(2)	3(2)	3(2)		10(1)	7(1)	3(1)	2(1)
	応用生物科学	若干人	1	0	0	0	0	若干人	1	1	0	0	若干人				
農学部	生物環境科学	若干人	3	2	0	0	0	若干人	1	0	0	0	若干人				
	生命機能科学	若干人	1	0	0	0	0	若干人	1	1	1	0	若干人	2	1	0	0
	小計			5(0)	2(0)	0(0)	0(0)		3(0)	2(0)	1(0)	0(0)		2	1	0	0
合計				45(2)	29(2)	13(2)	11(2)		34(2)	22(2)	11(2)	7(2)		36(1)	26(1)	11(1)	6(1)

※() は、内数でマレーシア政府派遣留学生の数です。

Ⅲ 佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

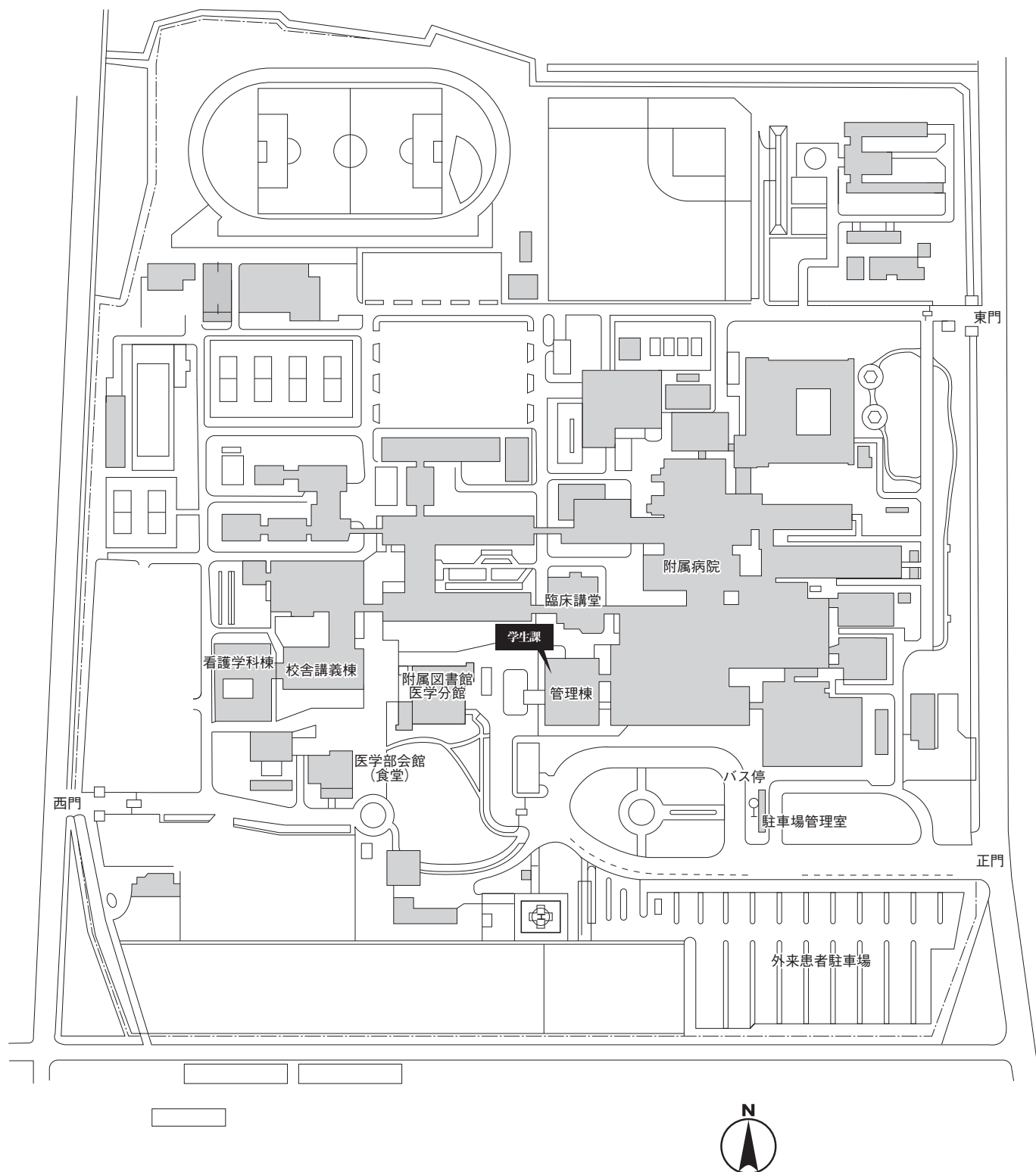
佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

[教育学部，芸術地域デザイン学部，経済学部，理工学部，農学部]

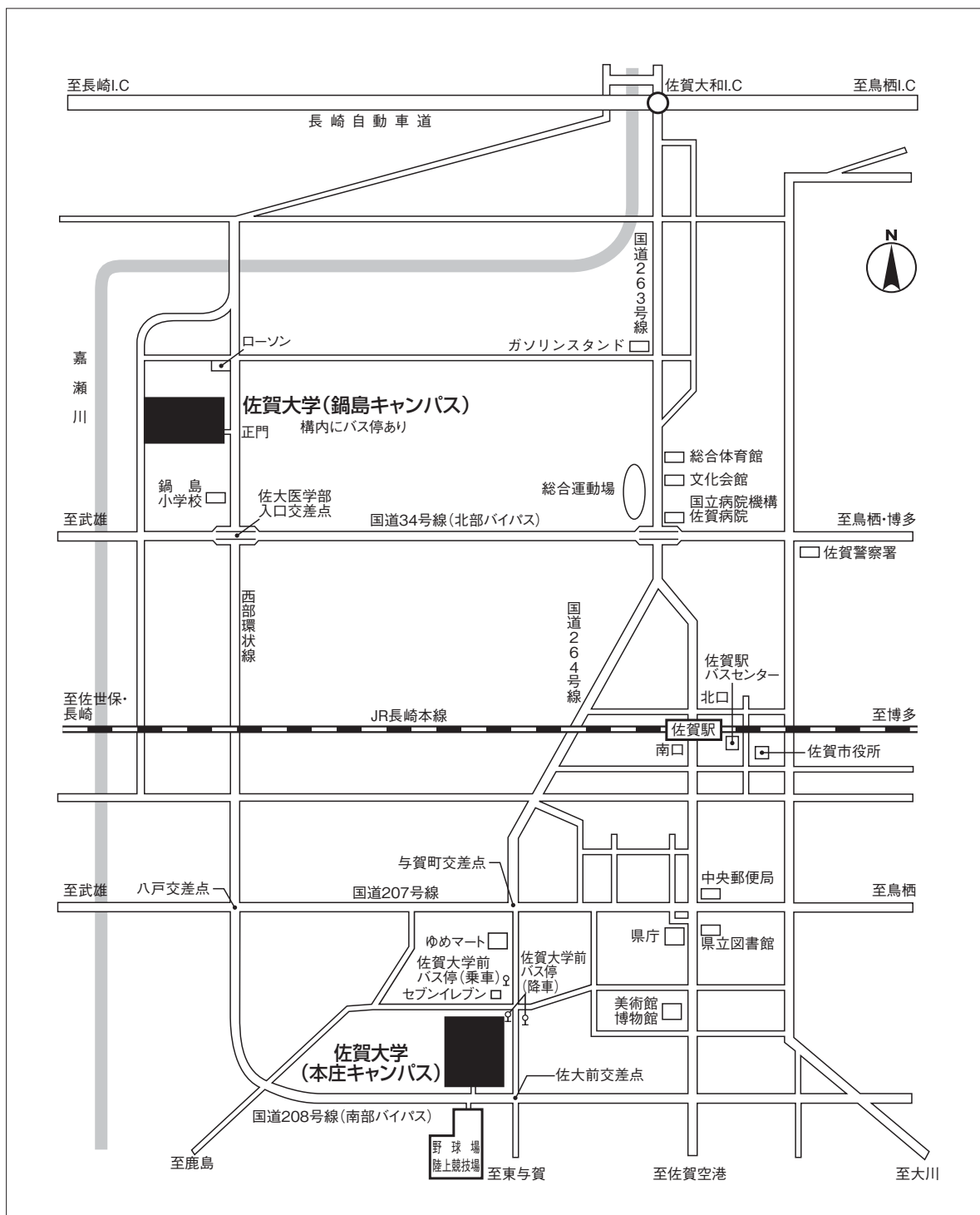


佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図

[医 学 部]



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター 4 番のりばから市営バス佐賀大学・西与賀線・11 番、佐賀大学・東与賀線・12 番、佐賀女子短大・高校線・63 番で約 15 分、「佐賀大学前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約 10 分

佐賀大学（鍋島キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター 2 番のりばから市営バス佐賀大学病院線（神野公園、鍋島小学校経由・50 番）で約 25 分、終点「佐賀大学病院」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約 20 分

佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

e - m a i l contact@mail.admin.saga-u.ac.jp